



CRF研修会(座間ベースキャンプ)



第12旅団記念行事にて(群馬・相馬ヶ原)

### 会長挨拶

30歳を過ぎた当時、たまたま弊社のお客様のところで自衛隊のお話を聞いたことが私自身の大きな転機となったようだ。

以来あちこち部隊にお邪魔する機会に恵まれ沢山の自衛官の方とお話しをする経験が出来た。すると私の心に少しずつ自衛隊を理解しようと応援していかなければならないと思うようになった。

それから1年半後にめぐり会った方が清風会発足のきっかけとなった清風会初代課長に着任された元陸幕長中谷正寛閣下であった。

中谷閣下と会うことがなかったら私の人生すべてと清風会人生はなかったと思う。

私も今年選暦を迎えたが人によっては短い人生、長い人生色々さまざまであろうがその人ひとりひとりの人生は、やはり如何にしてめぐり会う人とめぐり会うことが出来たかが自分の人生の生き方が決まってくるのではないかと切に感じる次第である。と同時に何事も実参実究を積むことであるとも思う。我が清風会も幾多の苦難、苦行を積んで今日では、何物にも代え難い信頼と自信を得てきたと思う。

私自身の人生そのものである。発足当時は、果たして国防の雄である課を応援し続けていけるのか又会員とともにスムーズに会の運営が出来るのかとても不安であった。それが“何事も為さざればやまず”の精神で苦難にぶつかり続けた結果、今は、確信に変化してきている。

そして最後に“智慧のある者は、智慧を出せ、力のある者は、力を出せ、智慧も力もない者は、汗出して頑張れ！”をモットーに自衛隊と民間の良き懸け橋となり続けなければならない清風会であろう！！

清風会会長 古川原 直久



### 25周年記念号

発行人・発行日

一般社団法人 清風会  
広報部 駒田量明  
平成28年11月1日



### 清風会の25周年に寄せて

清風会、25周年となりました。この間、陸幕防衛課をはじめ、お世話になった自衛隊の皆様には、心から感謝申し上げます。

25周年を迎えるにあたり、最近の所感を少しだけ述べさせていただきます。

第一次安倍内閣の頃までは、日本のリベラルに少しは期待するところがありました。しかし、民主党政権を経て、それは失望へと変わりました。

現在、世界は歴史的な転換期にあるようです。

私の、昔から気になっていた経済学者に佐伯啓思がいます。ノッペラボーな経済学者が多い中で、一人、思想的な深みを感じさせる人でした。その佐伯啓思が、最近の保守系の雑誌への寄稿文の中で、平和憲法プラス日米安保条約という「戦後レジーム」を見直すという本来の安倍政治に立ち返れと書いています。

そういう時代になりました。25年前と比べて、今日、国民の意識の上でも、自衛隊の位置付けは地滑り的に大きく変わりつつあります。

そのような環境の中、清風会としては、今後とも、静かに、地道に、そして力強く応援していければと思っています。

清風会副会長 平出 栄



第2師団記念行事前夜祭陸将住田師団長と(北海道旭川)



幹部学校記念日 陸将深津校長と(東京目黒)

### 清風会25周年を回帰して、日々変化する世界情勢は

四半世紀が経過したことになりますが、この間、東日本大地震、熊本大地震等での災害復旧において、防衛省自衛隊のご尽力、ご活躍には、日本国民として敬意をもって大いに感謝申し上げます。隊員の皆様、本当にありがとうございます。

さて、日本経済においてはバブルが崩壊してから、多くの生産物で供給過多となり、需給バランスが崩れ、技術革新やサービス、ビジネスモデルの革新が寄与しましたが、デフレスパイラルから抜け出そうと様々な財政・金融政策、経済政策を講じるも未だ、浮上したとは云い難い状況で推移している。経済が加速度的にグローバル化しているので、世界経済からの影響も受け苦慮しております。

加えて、日本及び近隣諸国に関連する東シナ海においてはキナ臭い状況が、ここ数年特に緊張感も高まってきている気がします。

特に経済面では、日本企業の対中国投資は2012年度73億5千万米ドルだったのが2015年度は32億1千万米ドルに減少しているが、韓国企業の中国投資は2012年度30億4千万米ドルが、2015年度は40億4千万米ドルに増加し、2016年度は50億米ドル以上となる勢いである。これだけで韓国が中国にシフトして行くとは思いませんが一経済人としては気になる処ではあります。

清風会専務理事 千種 伸夫



第7師団記念行事陸将補木口第一高射特科団長(北海道東千歳)

後方応援隊員

東日本大震災や関東・東北豪雨による災害での救助、復旧等を通じて、自衛隊の活躍に多くの人達が感謝し、必要な身近な存在として好意的に受け入れられるようになりました。陸自後方応援隊として我が事のようにうれしく感じています。ところで、私の思い違いであればと思いますが、熊本地震時のテレビ報道には？(はてな)が。西部方面隊の本拠地での災害なので、何はともあれに救援活動を行っていた筈です。にもかかわらずテレビ画面には県警(ポリス)の紺色の制服がほとんどで迷彩服は映りませんでした。まさかと思うが安保法制成立の審議の最中だけに自衛隊の活躍を快く思っていない人たちもおるのかと思わされた。集団的自衛権行使の議論がなされているが、私は九条も含め憲法改正を行うべきと思う。「平和ボケ憲法」は占領時のアメリカさんが起草した占領基本法みたいなものと思えるし、「我が国は自衛権を保有するが行使はできない」と言われています。本当におかしいですね。「平和憲法ごとき」の存続の主張をするだけでなく、周辺事情の変化にも対応出来るような改正があってしかるべきだと思います。今後も本当に自衛隊員が我が国の安全に携わってもらえるよう後方にて応援していきたいと思ひます。

清風会理事 太田博己



対馬陸・海・空駐屯地行ってきました三塚隊長と



第一ヘリ団体験搭乘(千葉 木更津)



観艦式

写真提供 会友 古川智也

清風会今後の活動予定

平成 28 年 11 月 5~6 日 (土~日)	第 13 旅団記念行事 (広島県海田町にて) 旅団長 陸将補 鈴木 直栄 (防大 30 期)
平成 28 年 11 月 3 日 (木)	幹部学校記念式典 (東京目黒にて)
平成 28 年 11 月 11~13 日 (金~日)	自衛隊音楽まつり (日本武道館にて) (12 日 (土) 名、13 日 名以上 名参加)
平成 28 年 11 月 22 日 (火)	第 2 回理事会 (グランドヒル市ヶ谷にて) 25 周年記念式典 (グランドヒル市ヶ谷にて)
平成 28 年 12 月 日 ( )	清風会忘年会 (場所未定)
平成 29 年 1 月 8 日 (日)	29 年度降下訓練始め行事 (習志野空挺団にて)
平成 29 年 2 月 22 日 (水)	清風会第 3 回理事会 (アットビジネスセンター渋谷駅前店にて)
平成 29 年 3 月 初旬予定	清風会研修会 (沖縄県与那国島陸上自衛隊駐屯地へ) 参加者 (古川原会長、外 6 名)
平成 29 年 4 月 2 日 (日)	第 1 空挺団記念行事 (習志野駐屯地にて)
平成 29 年 4 月 9 日 (日)	高田駐屯地記念行事参加予定 (新潟・上越市)
平成 29 年 4 月 22~23 日 (土~日)	第 8 師団記念式典参加予定 (熊本市にて) 師団長 陸将 本松 敬吏 (元防衛課防大 29 期)
平成 29 年 4 月 29 日 (土)	陸上自衛隊高射学校記念式典参加予定 (千葉県四街道市)
平成 29 年 5 月 14 日 (日)	新発田駐屯地記念式典参加予定 (新潟・新発田市)
平成 29 年 5 月 24 日 (水)	清風会第 4 回理事会 (アットビジネスセンター渋谷駅前店にて)
平成 29 年 5 月 27~28 日 (土~日)	第 7 師団記念式典参加予定 (北海道東千歳市) 師団長 陸将 田浦 正人 (元防衛課防大 28 期)
平成 29 年 6 月 17~18 日 (土~日)	第 2 師団記念式典参加予定 (北海道旭川市) 師団長 陸将 高田 克樹 (元陸幕防衛部長 29 期)
平成 29 年 7 月 日 予定	清風会研修会 予定
平成 29 年 8 月 23 日か 30 日 (水)	清風会理事会及び総会 (アットビジネスセンター渋谷駅前店にて)

清風会「25周年記念」行事 会場：グランドヒル市ヶ谷 日時：平成 28 年 11 月 22 日(火) 18:00~  
第 1 部：記念講演 講師：陸幕防衛課長 一等陸佐 松永浩二  
第 2 部：記念式典及び祝賀会

編集後記 いつも見ている地図を逆さまにし、大陸から日本海をみた地図を最近よく目にするようになりました。初めて目にしたときは逆さにしただけなのに全く別物に見えました。北方 4 島から与那国島まで日本海を日本列島が取り囲んでいます。K 国が「東海に改名すべきだ」と勝手なことをのたまわっているがどう見ても日本海なのです。逆さ地図を見たとき、更に確信しました。C 国も K 国も必ず日本を通らなければ太平洋に出られません。日本の国土は狭いが好立地なのです。砂漠は鳥取にしかなく作物はなんでも育つ緑豊かな国です。領海は世界 6 位の世界に冠たる海洋国家です。2013 年に噴火した西之島が 12 倍に拡大したことにより領海も 70 km<sup>2</sup> 拡大したそうです。海洋資源は魚だけではなくレアメタルやメタンハイドレードなどもあります。本当に我が国はすばらしい。 駒田

